



2023年12月21日

各 位

会 社 名：フジ日本精糖株式会社
代表者名：代表取締役社長 曾我 英俊
(コード番号 2114 東証スタンダード)
問合せ先：取締役執行役員管理本部長
大橋 高弘
(TEL. 03-3667-7811)

業務提携契約締結に関するお知らせ

当社は、2023年12月21日開催の取締役会において、株式会社 digzyme（以下 digzyme 社）と新たな価値を創造すべく共同開発を目的とした業務提携契約を締結することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業務提携の目的及び理由

糖質原料から酵素法による新規機能性素材の開発と実用化
～バイオインフォマティクスによる酵素開発の実用化で新たな価値の創造を目指す～

当社は、創業70年以上の歴史のある精製糖メーカーです。精糖事業を主力事業としながらも、精糖事業で培った技術やノウハウを応用し、非砂糖事業の育成にも力を入れております。機能性素材事業においては、世界で初めて酵素法で水溶性食物繊維イヌリンの製造に成功し、2013年からタイ国へ生産拠点を移し、日本・タイを中心に世界マーケットへ販売を伸ばしております。この度、「NEXT VISION 2040」として、2040年に向けた長期ビジョンを策定いたしました。本業務提携もその一環として今後、機能性素材事業を育成してまいります。

digzyme 社は、バイオインフォマティクスによる酵素開発をコア技術とする東京工業大学発のスタートアップです。独自の解析基盤を有しており、多種多様な酵素の探索や改良を短期間で行うことができます。これまでは、天然物の代替生産や廃棄物分解など、主に化学分野における酵素やバイオプロセス開発を中心に技術活用を進めてきました。本業務提携は、食品分野への事業拡大の一環と位置づけています。

2. 業務提携の内容

当社と digzyme 社は、digzyme 社が得意とする酵素デザイン技術を食品分野で応用し、当社が有する酵素法による生産プロセスおよび研究開発・マーケティングノウハウを持ち寄り、両社で新規機能性素材を開発していくべく業務提携に合意いたしました。両社のノウハウを持ち寄り、多くの時間や労力を要していたバイオプロセス開発を加速させます。

3. 業務提携の相手先の概要

(1) 名称	株式会社 digzyme
(2) 所在地	東京都港区新橋 1-16-6 新橋柳屋ビル5階
(3) 代表者	代表取締役 CEO 渡来 直生
(4) 事業内容	バイオインフォマティクスによる酵素開発 化合物生産及び分解のバイオプロセス開発
(5) 資本金	240 百万円
(6) 設立年月日	2019年8月26日
(7) 当社と当該会社の関係	記載すべき資本関係、人的関係、取引関係等はありません。 また、関連当事者にも該当いたしません。

※digzyme 社は非上場会社であり、先方からの要請により大株主及び持株比率、最近3年間の財政状態及び経営成績については非開示としております。

4. 日程

- (1) 取締役会決議日 2023年12月21日
- (2) 契約締結日 2023年12月21日

5. 今後の見通し

本業務提携が当社の当期業績に与える影響は軽微であると見込んでおりますが、上記1.に記載のとおり、中長期的には当社業績及び企業価値の向上に資するものと考えております。

以上

【参考資料】

当該業務提携の参考資料として、HPでのIR資料を添付いたします。業務提携の詳細を記載しておりますので、補足資料としてご参照願います。

【参考資料】

2023 年 12 月 21 日
フジ日本精糖株式会社
株式会社 digzyme

糖質原料から酵素法による新規機能性素材の開発と実用化に向けて、 フジ日本精糖、digzyme と業務提携契約を締結

～バイオインフォマティクスによる酵素開発の実用化で新たな価値の創造を目指す～

フジ日本精糖株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：曾我 英俊、以下「フジ日本精糖」）、株式会社 digzyme（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：渡来 直生、以下「digzyme」）は、糖質原料を用い、酵素法による新規機能性素材の開発と実用化に向けて業務提携契約を締結し、共同で新たな価値を創造すべく開発を開始しましたのでお知らせいたします。

(提携イメージ図)



※バイオインフォマティクスとは、バイオ(生物学)をインフォマティクス(情報科学)で捉え、生命の情報（遺伝子やたんぱく質の配列）をコンピューターによって解析する研究分野のこと。

フジ日本精糖は、それぞれ長い歴史を持つフジ製糖と日本精糖をルーツに持ち、創業 70 年以上の歴史のある精製糖メーカーです。精糖事業を主力事業としながらも、精糖事業で培った技術やノウハウを応用し、非砂糖事業の拡大にも力を入れております。機能性素材事業においては、世界で初めて酵素法で水溶性食物繊維イヌリンの製造に成功し、2013 年からタイ国へ生産拠点を移し、日本・タイを中心に世界マーケットへ販売を伸ばしております。この度、「NEXT VISION 2040」として、2040 年に向けた長期ビジョンを策定いたしました。本業務提携もその一環として今後、機能性素材事業を育成してまいります。

digzyme は、バイオインフォマティクスによる酵素開発をコア技術とする東京工業大学発のスタートアップです。独自の解析基盤を有しており、多種多様な酵素の探索や改良を短期間で行うことができます。これまでは、天然物の代替生産や廃棄物分解など、主に化学分野における酵素やバイオプロセス開発を中心に技術活用を進めてきました。本業務提携は、食品分野への事業拡大の一環と位置づけています。

この度、フジ日本精糖と digzyme は、digzyme が得意とする酵素デザイン技術を食品分野で応用し、フジ日本精糖が有する酵素法による生産プロセスおよび研究開発・マーケティングノウハウを持ち寄り、両社で新規機能性素材を開発していくべく業務提携に合意いたしました。両社のノウハウを持ち寄り、多くの時間や労力を要していたバイオプロセス開発を加速させます。

本件に関するお問い合わせ先

- ・フジ日本精糖株式会社 管理本部 Tel：03-3667-7811
- ・株式会社 digzyme Tel：080-5386-3981

(ご参考)

糖質とは特定の構造をもった炭素と水素からなる化合物であり、砂糖、デンプン、セルロースなどが含まれます。砂糖やデンプンは主要な食糧であり、セルロースは紙や綿などの原料であり、人類の生活を支える極めて重要な基幹物質です。地球上において最大のバイオマス原料であるとされ、近年では石油系原料の代替原料として期待される化学物質でもあります。食品分野においては脳の重要なエネルギー源である砂糖や腸内環境の改善を通じて様々な機能性を示すことで注目されている食物繊維として日々の生活で利用されております。

糖質は自然界に非常に多く存在し、植物や炭素を介して循環利用できる資源であるため持続的で安定的な社会の実現には極めて有用な物質です。これら糖質を原料として新たな付加価値を創造することは、食品分野のみならず、人々のサステナブルで多様性のある衣・食・住、さらには健康を支えることに繋がります。

酵素とは、生物が作り出すタンパク質の一種で、化合物の変換を促す機能があります。自然界には多種多様な酵素が存在し、それぞれが異なる役割を持っています。これまで人類は1833年のジアスターゼの発見以降、自然界に存在する動植物や、微生物の作り出す酵素を産業利用してきました。近年、サステナビリティ実現の観点から、多様な触媒特性をもつ酵素の開発に注目が集まり、今後より広い産業への利用が期待されています。

※ 掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

以 上